



副理事長 壺阪 敏幸



専務理事 江藤 勝徳



新年明けましておめでとうございます。
特別養護老人ホーム「西長洲荘」、ケアハウス「ふれ愛花みずき」にご入居の皆様、ご利用の皆様、ご家族の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えることとお喜び申し上げます。

平素は、社会福祉法人平成会に對しまして、温かいご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

さて、本法人は、平成12年春に西長洲荘を開設して以来、今年で20年を迎えます。

これもひとえに、ご入居の皆様、ご利用者、ご家族をはじめ、地域の皆様のお力添えの賜物と感謝いたしております。

「令和」という新しい時代をむかえ、経営の透明性をはじめとした経営組織のガバナンス強化、財務規律の強化に努め、これまで以上に、「西長洲荘」・ケアハウス「ふれ愛花みずき」や、デイサービスセンター、ヘルパーステーション、地域包括支援センターが相互の連携・協力を進め、より強固なネットワークを構築して、地域包括ケアシステムの一翼を担う、介護サービスの向上を目指した着実な事業展開を図ってまいります。

さらに、昨今、福祉を支える人材の確保が大変難しい時代ではありますが、時代の要請にこたえた質の高いサービスを継続的に提供するため、職員の確保、処遇改善、人材育成、定着に向け、働きやすい職場環境づくりの取り組みの強化を図ってまいります。

今後、20年という歳月の積み重ねのなかで、法人の理念に基づいた、これまでに築き上げてきたものを大切にしながら、質の高いサービス提供に努めて、ご入居の皆様、ご利用の皆様、ご家族の皆様、そして地域からの期待と信頼にこたえる「社会福祉法人平成会・西長洲荘」となるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。

最後になりましたが、皆様の今後のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2020年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
日頃より、社会福祉法人平成会の運営に対し、御支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

平成会が運営する特別養護老人ホーム「西長洲荘」、ケアハウス「ふれ愛花みずき」そして全室個室ユニット型特別養護老人ホーム「芦風荘」が、皆様方のお力添えをもちまして、無事に新春を迎えることができました。

さて、昨年は4月に「平成」が終わり、新たに「令和」元年を迎えました。平成の30年間に我が国を取り巻く環境は、中国の台頭による米中新冷戦へと劇的に変化しました。一方、国内では少子化が進み、人口減少社会になり人手不足は深刻な状況になっています。さらに地球温暖化による自然の猛威は従前の備えでは対応できないレベルまで達してきています。

そんな中、相変わらず、きつい、汚い、危険。介護業界にある「3K」。この悪印象が業界への入り口を狭め、人材難を悪化させています。

その状況を打破するべく、介護業界の未来を担う人材の育成、引いては業界全体における労働環境の健全化に更に取り組んでいかねばなりません。

又、今後は外国人技能実習制度や入管法の改正による外国人就労についても真剣に検討していかなくてはならない時期にも来ております。

法人としての方針を持ち、人材の課題に更に真摯に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、今年十二支の最初となる「子」年、新しいことにチャレンジして成長したいと思えます。

